

令和 3 年第 7 回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和 3 年 7 月 2 1 日 (水)
 開 会 1 5 時 0 0 分
 閉 会 1 6 時 4 5 分
 場 所 横田庁舎 2 階 第一会議室
 出席委員 福田充雄教育委員 荒金勇吉教育委員 谷尻圭子教育委員
 高橋美奈教育委員
 委員会事務局 永瀬教育魅力課長 吉川結婚子育て応援課長
 岸本教育魅力課課長補佐 長谷川教育魅力課長補佐

教育長

(オリンピック選手激励式の報告)
 (大雨被害について)
 (新型コロナウイルス感染症の状況について)
 ・山陰両県で拡大している。中学校は中国総体がありホッケー等が参加するが、昨日、県から部活動に関する通達があり、その中で県外に遠征する際は特にコロナの厳戒態勢を取っている都道府県には十分に注意し、帰省後の日数制限等が出された。部活動は学校の判断に任せている。

参加者 4 名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 高橋委員

事務局

議案 第 5 号 奥出雲町就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱制定について。
 ※資料により説明

荒金委員

自宅に端末を持ち帰り電波が届かない家庭の有無の話をしていたが、現状はどうなっているか。

事務局

全ての学校で端末を自宅に持ち帰っている訳ではないが、小規模校が先行して端末を自宅に持ち帰り電波の状況を確認してもらっている。持ち帰りを行った学校から該当のする家庭の報告は受けていない。今後、三成小学校や横田小学校、中学校等で持ち帰りを行った際に就学援助の該当の家庭があれば適応される。

(その他質疑無し)

	(全会一致で可決)
事務局	議案第 2 号 教育大綱及び教育振興基本計画について ※資料により説明
教育長	今回提示した資料はあくまでも草案あり、今まで出てきた意見等を拾い集めて作成したもの。量的な問題等がまだある。学校再編に触れているが、来年 3 月に各校区から再編に対する意思表示がされた時に変わる可能性は 0 ではない。現時点での課題を 5 年間かけて整理していかないといけない。学校再編については、今月末に 2 回目の代表者会議が開催される。そこでは各地区から様々な意見・質問があり今後の課題が出てくると思われる。学校教育についても触れていない個への支援、不登校、社会教育についても図書館関係、文化財保護等への取り組み課題が出てくると思う。それら大綱に取り入れてくる必要がある。
事務局	総合計画に記載されている 5 つの分野について方針を定めて目標と取り組みを整理させて欲しい。それに関わる現状分析にも触れながら大綱としてまとめたいと思っている。松江市や安来市等、他市町村の大綱を見るとなぜこの方針を定めたかという現状分析・説明はされておらず方針のみを書いた大綱が多かった。奥出雲町もそのような形で大綱を策定する予定だったが、奥出雲町の現状を知らなければどこに力を入れていくのか分からないため現状分析も含めて大綱を策定したいと考えている。
谷尻委員	以前の総合計画で気になっていたが、就学前の子供の教育が全て結婚・子育て支援の充実にとまとめられていて浮かび上がってこない。それが不満であり不安である。教育大綱には就学前の子供の教育をどこかに組み込んで欲しい。
福田委員	幼児教育の観点を取り入れて欲しい。
教育長	総合計画の施策分野の 1 つ、結婚・子育て支援の充実には本来取組に幼児教育が記載されなければいけないが記載されていない。取組の 1～3 は総合計画に記載されているため大綱でも若干触れないといけない。教育大綱には絶対に入れないといけない項目があり、その中に幼児教育がある。総合計画に書いてある内容を教育大綱の形に変えていく必要がある。
福田委員	幼児教育は項目 4 になるのか
教育長	項目 4 より上でもよいと思っている。総合計画では結婚子育て充実で結婚の部分には触れていない。教育大綱の中で結婚の事に触れる事はないと思われる。地域ぐるみで子供を育てる環境づくりは当然ある程度必要である。幸せな未来を作る出会

	<p>いづくりという部分が結婚だと思われる。幼児教育は項目 4 にするかは分からないが、必ず入れる必要がある。幼児教育の入れ方は今後検討する。</p>
福田委員	<p>文科省から年長から小学校につなげる教育が出されている。これがこの先の非常に大きな課題になると思っている。幼児教育という観点が無いと困るのではないかな。</p>
荒金委員	<p>この 5 つの項目の中に幼児教育を入れるのならば学校教育分野に入れて欲しい。結婚子育て支援とは着眼点が違う気がする。</p>
谷尻委員	<p>幼児教育を就学前教育という形で入れるのならば学校教育があっていると思う。結婚子育て支援に入れてしまうと保護者サポートも含まれてしまうのではないかな。学校教育に入れば幼小の連携もしやすくなるのではないかな。</p>
福田委員	<p>施策分野を見比べた時、結婚、子育て支援の充実は他の 4 つの分野と質が若干違うように感じる。総合計画に記載されており落としてはいけない部分だが、どこに入れるかは考える必要がある。学校教育の充実の取組に横田高校が記載されていることに違和感がある。横田高校は奥出雲町が支援しているため重要な施設ではあるが、この表現でいいのかは疑問がある。社会教育の取組に多様な人づくりとあるが、これも質が違うのではないかな。多様な人づくりは社会教育だけの問題ではなく、全てに関わる問題なのでここに記載しているのは違和感がある。図書館を既存施設に限定するのはどうなのか。学校再編で新しい学校を作った際に地域に開放出来る図書館を併設して作る方法もあるのではないかな。既存の施設に限定するのは未来が無い気がする。</p>
荒金委員	<p>図書館関連だが、出来れば図書館は町立を付けた名称にして欲しい。</p>
福田委員	<p>ある程度の夢があるものも欲しい。予算等との整合性もあると思うが、現実的な部分だけではなく、ある程度の夢みたいなものも語る必要があるのではないかな。</p>
高橋委員	<p>確かな学力の確立のような取組が欲しい。これだとおんぼらとした子供ばかりが育つイメージがある。学力的な取組があれば親が安心するのではないかな。</p>
事務局	<p>教育大綱は総合計画に触れながら町の教育全体を体系的にしていく。現在、迷いながら策定を行っている。今は自由に発言をしてもらい、それを持ち帰り各担当で形に出来ればいいと思っている。</p>
教育長	<p>幼児教育は取り入れる。夢ばかりを語るわけにもいかないし、現実ばかりを語っても仕方がない。何を書くかと言うのは非常に難しい。計画期間の 5 年は比較的長いわけではないので 5 年間で出来る事を示していく。総合計画に記載されている項</p>

目は何らかの形で触れなければいけないと思い資料のような形にしたが、総合計画もそこまで練られて作られたものではないように感じている。地域間交流・国際交流の推進分野のスポーツ大会・合宿誘致という取組があるが、これは地域文化・スポーツ振興に含まれるのではないか。このような部分を整理する必要がある。学校教育の充実分野においても横田高校と専修学校では意味が違う。18歳の目指す子供像は幼・小・中・高の連携を謳っているので変えていく必要がある。本日は意見を貰い、次の会議で整理したものを提示する。意見等があれば担当か私に連絡をして欲しい。

(継続審議となる)

報告第8号 小学校再編について

※資料により説明

今月27日に横田地区、29日に仁多地域の第2回代表者会議を予定しており、5月末に開催した第1回目の会議の後に出た質問に対する質疑の時間を取る予定にしている。1回目の会議で仁多地域の統合小学校の建設予定地として現三成小学校敷地を提案しているが、スケジュール等の説明していないため今回の会議で説明をする予定にしている。町としては10月に仁多地域の各地区から何かしらの意向を示して欲しいと思っている。この期限の理由として令和7年4月に新学校を開校するためには10月の時点で建設予定地が決定していなければ建設事業が始められないため。返答できない校区が出てくることは想定しているが、すべての校区で提案した敷地がよいとなれば最初に提案した再編方針に従って令和7年4月の統合に向かって協議が継続していく流れになる。10月時点で確定できないとなれば校区の数によるが、候補地の意向を取りまとめる期限を延ばす、それに付随して統合の意向の判断を出す期限を変える、代替案を提案されれば候補地自体を再検討する必要がある出てくるかもしれない。そのような可能性があることは校区に伝える必要があると思っている。しかし、候補地を再検討することになれば仁多地域の再編時期が令和7年4月になるのはほぼ不可能だと思われるため、令和8年以降の再編という事で協議は進めさせて欲しいと思っている。

現在、統合小学校の建設予定地として現三成小学校敷地を提案しているが、10月時点で仁多地域の意向がまとまらなければ耐震工事のために必要な三成小学校の仮設校舎の建設地の判断に影響が出てくる。児童の安全確保のために令和4年度1学期に工事を完了させ2学期から仮設校舎で授業を行う予定にしている。仮設校舎の建設地、既存施設の活用法等、建設予定地を決定する時期によって運用の制限が出てくる可能性があることと承知してもらった上で各校区の意向を取りまとめてもらいたいと思っている。しかし、このような理由があるから10月までに同意して欲しいわけではなく、建築予定地の決定期限を延ばした後に示すと反感を買う可能性があるため。

	<p>令和 7 年 4 月に再編統合を提案しているが、鳥上小校区、高尾小校区から前倒しで統合の確認があったため、スケジュールを用意した。現時点で令和 4 年度の編入は不可能なので令和 5 年度に編入する場合のスケジュールを示している。令和 4 年の教職員の人事配置は秋から始まるのでそれまでに校区として統合の意思を示して欲しいと思っている。意思表示があれば人員配置を要望し、令和 4 年 4 月に複式学級解消のための加配をし、1 年かけて複式を単式にする準備をする。その後令和 5 年 4 月に編入をする。統合ではなく編入の取り扱い。編入先は横田小学校か三成小学校としており、代表者会議とは別に該当の校区との協議会を開催する。編入後の再編統合の協議は編入前の校区代表として参加してもらう。</p> <p>三成小学校の仮設校舎は仁多地域の統合小学校の建設予定地が 10 月に間に合わない場合でも令和 4 年 4 月から工事を始めて令和 4 年 2 学期から仮設校舎での授業をする形にしたいと思っている。現在、仮設校舎の場所をカルプラの駐車場と想定しているが、統合小学校の建設予定地が提案した場所以外になる可能性が出てくれば現三成小学校の校庭の一部に仮設校舎を建築する選択肢も出てくると想定している。横田地域は令和 4 年 3 月の再編統合への意向のみだが、仁多地域のスケジュールを渡して仁多地域のスケジュールがずれる可能性があることは伝えるつもり。</p>
教育長	<p>仁多地域、横田地域に別れて開催する代表者会で説明する内容の一部を説明した。仁多地域には統合小学校の建設予定地の意思表示をお願いしているが、10 月から遅れることになれば財政的な予算獲得、設計、用地買収等の手順を考え令和 7 年 4 月の開校は難しいと認識している。付随して問題になるのが三成小学校の代替校舎の建設地。現三成小学校の校庭の一部に仮設校舎を建設してしまうと統合小学校の設計のレイアウト的な問題が出てくる可能性がある。仮設校舎を建設せず、一時的に高田小学校を利用する等判断する必要もある。</p> <p>再編統合の意思決定を令和 4 年 3 月に行うのは難しいという地区、令和 7 年 4 月を待たずに統合したいという地区等様々な意見が出ている。前倒し統合については今年 9 月までに意思決定がされた場合、やってやれないというスケジュールを組んでいる。可能な範囲で説明をして理解を得ていくつもり。</p>
福田委員	<p>三成小学校校舎の耐震が問題になっている。三成小学校の仮設校舎と建築する場合、決定をしなければならないギリギリのラインはいつか。</p>
事務局	<p>プレハブの場合 4 月から工事を開始して 7 月末に完了するには今年度の終わりに建設をしないといけない。統合小学校の建設予定地が 10 月に確定しなければ現三成小学校の校庭に仮設校舎に建てる計画で進めることになる。</p> <p>12 月が来年度予算要望なのでその間に校舎の事業費的な物を組んで 3 月の議会を通れば 4 月から着手という形になる。仮設校舎を建てることは決まっているが、10 月で統合小学校の建設地が現三成小学校の敷地になれば他の土地に建てる設計になる。見送りとなれば校庭に仮設校舎を建設する計画になる。</p>

教育長	<p>三成小学校の校舎は耐震が未実施のためどうにかしなければならない、というのが大前提。今まで耐震に着手しなかったのは統合小学校の建設地が決まらなかったため。10月に建設予定地が現三成小学校跡地に決まれば動けるが、様々な意見が出ている現状ではあっさりとは決まらないと考えている。中には亀嵩小学校で一緒に授業をすればよいと言う人もいるが、亀嵩小学校校舎はそのような作りはしていないため無理。</p>
高橋委員	<p>10月に統合小学校の建設地が決まらず、三成小学校の校庭に仮設校舎建設が決定した後に統合小学校の建設予定地が現三成小学校跡地になった場合は三成小学校の敷地に新校舎は建設できないのか。</p>
事務局	<p>建設できないわけではない。10月に建設予定地が決定すれば現三成小学校校舎は全て壊すのでレイアウト的に自由に設計が出来る。しかし、代替校舎を建設した後はレイアウト的な制限、敷地の制限が出てくると想定している。</p>
福田委員	<p>レイアウト等の問題より騒音で子供たちが困るため無理ではないか。仮設校舎を三成小学校敷地に建ててしまったら新校舎は他の候補地にしなければならないのでは。</p>
事務局	<p>再編統合が決定していない状況でカルプラの駐車場に仮設校舎を建設した場合、何年も駐車場が使えない可能性もある。それは避けたい。</p>
福田委員	<p>カルプラの駐車場は仮設校舎を置く期間が決まっても苦情が出ると思っている。再編統合をする必要性を分かってもらえない現実がある。数合わせという人、協議会の中でどのような学校を作っていくか皆で考えていく必要があると説明をしても町からどのような学校を作るのか示せと言う人がいる。また、以前に話があった小規模校の話を統合のための会議と捉えている人がいる。誤解をしている人がいる。10月に建設予定地が決定すると思っていない。以前の話が繰り返し出るようだとなんのために会議をしているのだろうと思いはある。</p>
谷尻委員	<p>ここ何年かは保護者が変わるたびに同じ話を繰り返ししている。再編統合と言うと反対するが、反対する割には広報などの情報を見ていない。他の地区も同じなのか。</p>
事務局	<p>代表者と直接やり取りした中ではしんどいと聞いている。全ての校区で様々な意見が出るため校区として意見がまとめられないと聞いている。校区間の情報交換の時間を作って欲しいとの意見もあった。</p>

教育長	<p>教育委員会、町の現在の試算では令和 8 年の段階で通常学級 6 学級、単式学級になるのは三成小学校と横田小学校のみ。小学校 10 校のうち 2 校が単式学級、8 校が複式学級のある学校になり、8 校のうち 5 校がすべての学級が複式学級になると想定している。現在 30 代 40 代になる子を持つ親からは複式で良かったという意見もあるが、当時は町内出身の教員が多く複式経験者が多かった。現在は町内在住、町内勤務を経験した教員は当時の 100 分の 1 ないし 2 程度。ほとんどは初任、奥出雲町に入って初めて複式を担当する教員。平成 20 年までは島根大学に複式学級があったが、それがなくなってから県下でも十数年で 100 学級くらい複式学級は減っている。複式学級の経験の無い教員が複式学級を担当するのは難しい。</p> <p>教員の異動は本人の希望に基づいて行われている。奥出雲町の複式学級に行きたくないという教員も間違いなく存在しており、今後教員不足が顕著になっていくと危惧している。今後の教育環境を考えると複式学級は子供たちにプラスにはならない。現在と同じ教育環境を保つためにはどこかで再編統合を出すのは必要である。</p>
福田委員	<p>教育長の話は重要だが、話をし辛い部分でもある。今まで教員が頑張ってきたのに何故できなくなるという話になる。</p>
谷尻委員	<p>保育者も日々の生活経験が足りていないため物の使い方、始末にしても中学生みたいな事しかできない。格段に 20 年前とは違う。</p>
教育長	<p>一生懸命のレベル、到達点が以前とは違っている。</p>
福田委員	<p>教員の力を結集できる学校を作らなければいけない。現在の学校体制は各学校の教員が頑張っているが、それが各学校の中で終わっている。そうではなく教員集団を大きくして教員同士で切磋琢磨して力を出せる学校を作らないといけない。</p> <p>コミュニティスクールのような考えで学校を作って行かないとそれ以上の教育は難しいと思う。島根県の複式教育は交流学習や合同学習等様々な教育の仕方を見てきたが、今の複式学級にはそれが生きていない。教育長の言ったことを訴えていかないと難しいと思う。</p>
教育長	<p>このままならば来年度、再来年度には鳥上小学校は人数的に事務員、下手をすれば養護教諭も難しくなる。これが他の地区にも波及してくる。教員定数、初任研担当については十分に確保できなかった。</p>
事務局	<p>その他連絡事項 (7 月 6 日から 12 日かけての大雨時の学校の状況について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の損傷は経年劣化による雨漏りはあったが、降雨による被害はなかった。

教育長	<p>午前 6 時の時点で避難指示が出ていれば町から休校の放送をすると先週の校長会で対応が確定していたため動くことが出来た。この午前 6 時と言うのは親が子供を送り出す準備をする時間であり、これ以降は子供が登校を始める時間になる可能性がある。子供が登下校を開始した段階でストップをかける事が一番危険だと思っている。土砂災害が起きた場合、小中学校は避難場所に指定されているため登下校の時間帯を除けば学校に居る方が安全。</p> <p>遠方から通勤している校長がおり、今後はオンラインでの緊急対応を検討する必要がある。また教職員も安全確保のため学校への泊り、避難場所への避難を指示した。車の破損、実家の方で土砂崩れがあったなどは聞いているが、教職員への被害は聞いていない。</p>
事務局	<p>(先日の大雨関連報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園は通常通りの業務を行った。 <p>(三沢幼稚園の運営について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三沢幼稚園の保護者から三成幼稚園への統合の話が出た。 ・ 毎年 11 月に来年度の入所を取りまとめているため、来年 4 月からの統合は難しいと話している。
谷尻委員	<p>私は早いうちがいいと思っている。現状、毎日バスで三成幼稚園に通っており、下駄箱も布団も机も椅子もある。来年 4 月からの統合は可能だと思うが、何故 1 年延ばすのか。</p>
教育長	<p>三沢地区が統合の意思を表明していない段階で町から来年 4 月に統合すると明言してしまうと反感を買う可能性が出てくる。鳥上の前例がある。三沢幼稚園の保護者の意見も 2 つに分かれているため町から明言しない方がいいと思っている。</p>
谷尻委員	<p>今年 11 月の入所申請の時点で三沢幼稚園の保護者の半分以上が三成幼稚園を希望したら三沢幼稚園は開園不可能。その時点で動き始めるよりは早めに動いた方がいいのではないか。保護者任せなのか。</p>
教育長	<p>保護者会の方から地域の方と話すと言った。保護者から地域へ統合する意思があることを伝え、その後、福祉会と町が入って話をするという形になると思う。先に保護者から地域へ伝えてもらわなければいけない。先に町から統合を明言してしまうと学校再編のために町が仕組んだと思われる可能性がある。</p>
高橋委員	<p>(JR とバスの乗り継ぎについて)</p> <p>前回是不確かな情報だったため後日確認をした。高校生が部活後に下校する際、阿井地区以外は JR とバスの接続が無いと聞いた。ホッケー部と剣道部は夜 8 時の</p>

	<p>JR で下校するが、帰りのバス便が無い。下校時に車を降りてバスが当たり前であれば横田高校はもっと魅力的になると思う。また、朝にバスを利用している亀嵩地区の高校生は、中学生が JR にたくさん乗っているため降りたがらない。今後、再編で小学生も一緒に乗るようになったらどうするのか。</p> <p>布勢地区では大東に送迎の方が近いので大東高校を選ぶようになると思う。JR とバスの接続が当たり前であれば横田高校に来る子供もいるのではないかな。</p>
荒金委員	<p>土台をしっかりさせるのも魅力課の 1 つ。可能な限り通える学校も魅力の 1 つになる。</p>
教育長	<p>仁多地区から横田高校へ通う生徒の多くは自家用車で送迎してもらっている。それは通学に使える便が少ないため。そのため横田高校へ通う子供が少なくなりさらに便が減るという悪循環がある。横田高校をどのようにするかという点について教育委員会でどこまで話せるか分からないが、横田高校の教頭から木次線が止まっても三成から横田間でバスを出せば通学が出来るのではと意見があった。JR が悪天候等で止まる関係で横田高校はかなり休校になっている。JR とバスの接続については今後話をする。</p>
高橋委員	<p>横田高校の寮は閉寮になるのか。</p>
事務局	<p>確認はしていないが、コロナ禍の為、お盆の時期でも閉寮にならない可能性はある。</p> <p>< 次回定例会は 8 月 18 日（水）午後 3 時より（予定） ></p>
署名委員	<p>会 議 録 署 名</p> <p>高橋美奈</p>
教育長	<p>松田武彦</p>

